

地球惑星科学委員会 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第9回）
議事要旨

1 日 時 令和7年7月12日(土) 11:00～11:45

2 会 場 日本学術会議6-C会議室(1) 及びオンライン(ハイブリッド会議)

3 出 席

委員：矢野 桂司*、小口 高*、倉本 圭*、三枝 信子、佐竹 健治、中村 卓司、西 弘嗣、
堀 利栄、薮田 ひかる、伊藤 香織、大谷 栄治*、春日 文子、齋藤 文紀、
塩川 和夫、張 勁*、土屋 旬、村山 泰啓、榎本 浩之(*オンライン)

欠席：沖 大幹、掛川 武、鈴木 康弘、藤本 正樹

陪席：日比谷 潤子(副会長)、原田 尚美(連携会員)、春山 成子(三重大学名誉教授)、
日本学術会議事務局(大山、藤田)

4 議 題

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 学術フォーラムの最終打ち合わせについて
- (3) 学術フォーラムのフォローアップについて
- (4) その他

5 配布資料

資料1：第6回地球惑星科学委員会・地球惑星国際連携分科会・議事要旨

資料2-1：学術フォーラム・ポスター

資料2-2：学術フォーラム(概要)

資料2-3：7/12 学術フォーラム・進行メモ(案)

参考資料1：公開シンポジウム「地球温暖化は南極をどのように変えるか？」
ー日豪共同研究の新展開-(7/28)・ポスター

参考資料2：(6/11 発) 中村から登壇者へのメール

参考資料3：(6/10 発) 事務局から登壇者へのメール6

6 議事内容

(1) 前回議事要旨の確認

中村委員長より、資料1に基づき前回議事要旨の確認があった。

(2) 学術フォーラムの最終打ち合わせについて

中村委員長から、資料2-1～2-3に基づき学術フォーラムの進行について最終確認を行った。

(3) 学術フォーラムのフォローアップについて

前回の学術フォーラムでは、フォローアップとして「学術の動向」に特集号を組んだ。今回は、国内学術誌等に投稿する方法を含め、検討を継続することとした。

(4) その他

特になし。

以上